

# NARITA

NO. 35

# 市議会だより

発行/成田市議会 編集/成田市議会だより編集委員会 〒286-8585 成田市花崎町760 Phone 0476-20-1570(直通) Fax 0476-24-0336



▲今年17回目を迎えた「成田太鼓祭」 オープニングを飾った成田山本堂前の「千願華太鼓」(4月9日、10日)

## 3月定例会市議会のあらまし

平成17年第1回定例会市議会は、2月18日に招集され3月16日まで27日間の会期で開かれました。

定例会市議会の初日には、平成17年度一般会計予算や条例の一部改正など35議案が上程されました。

一般質問は21日から23日まで15人の議員が登壇して行われ、24日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日の3月16日には上程された議案35件、発議案2件、追加上程された人事案件1件と合併関連の案件3件を原案どおり可決し、閉会しました。

### 主な内容

- ☆可決された議案の概要……P 2～5
- ☆国に意見書を提出……P 3
- ☆特別委員会から……P 6～7
- ☆予算特別委員会を設置……P 7
- ☆一般質問から……P 8～16
- ☆コーヒータイトム……P 16



成田市

## 【3月定例会市議会の日程】

期 日	内 容
2月18日(金)	本会議 (開会、会期の決定、全議案一括上程審議)
21日(月)	本会議 (議案に対する質疑、一般質問)
22日(火)	本会議 (一般質問)
23日(水)	本会議 (一般質問、議案に対する質疑、委員会付託)
24日(木)	経済環境常任委員会
25日(金)	新清掃工場建設特別委員会
28日(月)	新駅・まちづくり特別委員会
3月1日(火)	建設水道常任委員会
2日(水)	教育民生常任委員会
3日(木)	空港対策特別委員会
4日(金)	総務常任委員会
7日(月)	予算特別委員会
8日(火)	予算特別委員会
9日(水)	予算特別委員会
16日(水)	空港対策特別委員会 本会議 (会議録署名議員指名、全議案審議、閉会)

# 41議案を可決・認定・同意

## 成田市・下総町・大栄町の合併についてなど

3月の定例市議会では、条例の制定及び一部改正案件16件、補正予算関係案件7件、平成17年度当初予算関係案件7件など35議案が審議され、原案どおり可決・認定されました。また、最終日に追加上程された人事案件1件、合併関連の案件3件も同意・可決されました。さらに、発議案2件も可決されたほか、12月定例市議会から継続審査となっていた1件の請願は不採択となり、議会に寄せられた3件の請願・陳情のうち、請願1件は採択、陳情2件は不採択となりました。

### ●可決された

#### 議案の概要

上程された議案は、各常任委員会に付託され審査が行われた後、最終日の本議会で可決されました。

### 総務常任委員会

▼預金保険法の改正に伴う関係条例の整備等に関する条例を制定するについて

【内容】平成17年4月1日から、銀行などの金融機関が破綻した場合、預金保険制度により預金者に対して保険金が支払われる制度（ペイオフ）が全面的に解禁され、無利息の決済用預金を除いては、元本1千万円とその利息以外の払戻しの保証がなくなることから、

基金の保護を目的に、預金以外への分散運用及び歳計現金への繰替運用を可能とするため、本条例により一括して改正しようとするもの。

#### 【主な質疑】

問 歳計金及び基金の具体的な運用方法は。

答 4月1日から決済用預金を導入し、歳計金については毎日使用することから、決済用預金で管理運用する予定である。また基金については地方債等の借入金と預金債権が相殺できるルールがあり、原則として相殺可能な範囲内での大口定期の運用と、長期的に運用できるものについては、現在でも実施している国債等の債券運用で対応したい。

▼不動産登記法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を制定するについて

【内容】不動産登記法の全部が改正され、同法の条文及び法律番号

等が変更されたことに伴い、同法の名称、条文または同法に規定された用語を引用する三条例について、本条例により一括して改正しようとするもの。

#### ▼成田市手数料条例の一部を改正するについて

【内容】ガソリン、ナフサ等の引火点が低い危険物を貯蔵する浮き屋根式の屋外タンク貯蔵所の技術基準が改正され、同貯蔵所の設置の許可に係る審査事務量が増加することに伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正されたことから、同様の改正を行うものとするもの。

▼成田市集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】大山共同利用施設を平成17年4月1日から供用開始するとともに、移転により地区の世帯が一世帯となり、集会施設を維持する必要がなくなった古市場地区の

防音集会所を廃止するため、所要の措置を講じようとするもの。

▼高規格救急自動車購入契約の締結について

【内容】救命率の向上を図るため、高度救命処置資器材を装備した高規格救急自動車を購入し、消防署及び分署のうち唯一未整備であった飯岡分署に配備することによって、さらなる救急体制の強化を図ろうとするもの。

▼市有財産の無償貸付について（田町区）

【内容】田町区の祭礼用倉庫の用地として無償で貸付するため、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決を求めるもの。

▼平成16年度千葉県成田市一般会計補正予算（第5号）

【内容】歳入歳出予算の総額から、それぞれ3億3千711万円を減

額し、42.9億4千678万4千円とするもの。

#### 【主な質疑】

問 文化財保存展示施設用地測量調査委託料が減額補正であるが、過去の経緯を踏まえた市の考えは。

答 八生地区を中心に適地確保に鋭意努力しているが、未だに見つかっていないのが現実であり、平成17年度は実現に向けて、今までの以上に取り組んでいきたい。

### 教育民生常任委員会

▼成田市立小学校設置条例の一部を改正するについて

【内容】成田小学校学区内の児童数の増加に対応するため、美郷台地区に小学校を新設するにあたり、同校の名称を美郷台小学校と定め設置条例に加えようとするもの。

#### 【主な質疑】

問 開校の予定期日と、その時点での成田小学校及び美郷台小学校の児童予測数は。

答 開校は平成19年4月を予定し、児童数は成田小学校816名、美郷台小学校331名を予定している。

▼成田市就学区域審議会設置条例の一部を改正するについて

【内容】成田市就学区域審議会の名称を成田市学区審議会に改めることに伴い、本条例において所要の措置を講じるとともに、併せて



▲完成した大山共同利用施設

## 国に意見書を提出

3月定例会市議会では、議員から提出された議案(発議案)が可決され、国及び関係行政機関に意見書が提出されました。

### 介護保険制度における介護予防策に関する意見書

介護保険制度については、現在、厚生労働省社会保障審議会介護保険部会において、来年度の見直しに向けて審議が重ねられている。

その中で、今後、高齢化が急速に進展し、高齢者をめぐる状況も大きく変化することが予測されることから、特に介護予防の推進が重要な課題の1つとなっており、要介護状態になる前の段階から統一的で効果的な介護予防サービスを提供するものとしている。

介護保険制度の見直しにあたっては、より効果的な介護予防策として、以下の2点について要望するものである。

#### 1. マッサージ師の参画について

国家資格を有するマッサージ師は、これまで、介護保険制度では機能訓練指導員、老人保健法では機能回復指導員として入所者の機能訓練に従事、また、医療保険でも維持期リハビリを担う等、介護・医療の立場から自立を支援してきており、今後も、介護予防プランに東洋医学の「未病を治す」考え方を取り入れた、介護予防・リハビリテーションに真に効果のあるプログラムの提供が可能である。

しかしながら、来年度の介護保険制度見直しにおいて介護予防の推進が課題であるにもかかわらず、そのための計画策定に鍼灸師は認められているものの、マッサージ師の果たす役割が何ら考慮されていない現状である。

については、マッサージ師が介護予防の担い手として参画できるよう図られたい。

#### 2. 個別ニーズへの対応について

高齢者の中には、運動により疼痛が出現し集団に適応できないケース等、個別ニーズへの対応を余儀なくされるケースが多々あることから、これらの個別ニーズに柔軟に対応ができるよう図られたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成17年3月16日

千葉県成田市議会

▼成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて  
 「内容」吾妻小学校の余裕教室を利用して、平成17年4月1日から児童ホームを開所することに伴い、施設の名称を「吾妻児童ホーム」と定め、本条例において、その名

次ページに続く

用語の整理を行おうとするもの。  
**【主な質疑】**  
 問 県内で就学区区域審議会と学区審議会を使っているところは。  
 答 現在、県下で通学区域もしくは学区という名称を用いているのは28市で、就学区域を用いているところは成田市を含め3市であり、市民にとっては「学区」の方がなじみやすいと考えている。  
 問 「知識経験」を「識見」に改めるが、その違いは。  
 答 平成6年度から、審議会等の委員の委嘱について、「知識経験」

より「識見」を有する者の方が幅広くいろいろな人材の活用もでき、条例を改正する場合「識見」という文言に替えている。  
 問 美郷台小学校の学区は、美郷台地区だけか、また、これは就学区区域審議会を経由しているか。  
 答 美郷台1丁目から3丁目、郷部の一部と成田小学校に指定学校変更で通っている押畑並びに山口地区で、15年度の就学区区域審議会

で審議し答申をいただいている。  
**▼成田市教育センター設置条例の一部を改正するについて**  
**【主な質疑】**  
 問 移転することによって、教育センターの業務が充実される内容は、また、教育センターの跡はどういう利用を考えているのか。  
 答 今回の移転に伴い、50人程度を収容できる専用の研修会場を確

保することができ、教育センターが主催する研修会を機能的に開催できるようになる。また、指導主事、臨床心理士が行う教育相談の専用の部屋も確保でき、児童生徒、保護者に対する相談体制と機能の充実が図られるものと考えている。また、教育センター跡の利用については、視聴覚用の備品等の整理置き場所等に供したい。子どもセンターは残る。  
**▼成田市教育支援センター設置条例を制定するについて**  
**【内容】**ニュータウンセンタービ

ル内に開設している適応指導教室については、教育センターと同じく、旧成田土地改良事務所跡に移転することに合わせ、その名称を「ふれあいるーむ21」と定め、新たに設置条例を制定しようとするもの。  
**【主な質疑】**  
 問 不登校の児童生徒について、学校復帰を支援するという目的で行っているが、どのくらいの比率で学校に復帰したか。また目的とする業務が4点あるが、それぞれ比率は。  
 答 通所するようになってから、平成15年度、16年度ともに5名ずつが通所する前より、登校する日数が増えている。また、仕事の内容については、分けるのは難しいが、子どもたちの適応指導に関することが多い。  
 問 家族に対しての支援は。  
 答 保護者の相談に対応できるように、臨床心理士を配置するとともに、通所している子どもたちの保護者に集まっていたとき、連絡会を定期的に持ち、情報交換等を行っている。

称を加えるとともに、利用者の要望に応え、保育時間を30分延長し、終了時刻を午後7時とするため、所要の措置を講じようとするもの。

〔主な質疑〕

問 延長保育の料金が1ヵ月1,000円の理由は。

答 保育園の延長保育料金も同額であり、受益者負担の観点から指導員の賃金、光熱水費等を勘案して、料金を設定した。

問 通常保育で申し込み、どうしても延長したいというケースは。

答 基本的には一月単位の申請だが、仕事の都合でどうしても遅くなってしまう日については、現状でもお預かりしているが、延長する日が多くなった際には、改めて手続きをしていただく。

▼児童福祉法の改正に伴う関係条例の整理等に関する条例を制定するについて

〔内容〕児童福祉法が改正されたことにより、児童相談所を規定する条文にズレが生じたことに伴い、この条文を引用する三条例について、本条例により一括して改正を行うとともに、併せて用語の整理を行うおとするもの。

〔主な質疑〕

問 児童虐待に対する対応が変わり、市の役割がかなり増えたことによる問題点、難しさは。

答 今回の改正により、虐待相談に対する市町村の責務が明確にされたが、成田市においては、現在

も家庭児童相談員が3名配置され、関係機関と児童相談所との連携をとり、相談を実施しているが、より密接な連携を考えている。

▼成田市スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

〔内容〕平成17年7月から美郷台小学校の校舎建設に係る準備工事が始まることに伴い、同校用地を成田スポーツ広場として利用できなくなることから、これを廃止するため、本条例において所要の措置を講じようとするもの。

▼成田市北羽鳥多目的広場の設置及び管理に関する条例を制定するについて

〔内容〕平成16年6月定例会において、契約案件として議決をし、整備を進めてきた(仮称)北羽鳥多目的広場が、平成17年4月1日から供用を開始することに伴い、施設の名称を「北羽鳥多目的広場」

と定め、適正な管理を行うため、本条例を制定しようとするもの。

〔主な質疑〕

問 申し込みの手続きや管理は。

答 当面、成田市が直接管理し、受付業務等については、開発協会に委託をしたい。また、鍵の管理等は、開発協会と生涯スポーツ課、豊住公民館で許可証を持参した者について、鍵を渡す体制としたい。

▼平成16年度千葉県成田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

〔内容〕歳入歳出にそれぞれ5千382万9千円を増額し、総額を64億7千196万7千円とするもの。

〔主な質疑〕

問 事務費負担金の減額の理由は。

答 平成12年度の介護保険導入から、介護納付金分を上乗せし課税することになり、そのための徴収事務に要する経費が事務費として交付されていたが、平成16年度から廃止となったため減額するもの。

▼平成16年度千葉県成田市老人保健特別会計補正予算(第1号)

〔内容〕歳入歳出にそれぞれ2千526万8千円を増額し、総額を46億7千286万円にするもの。

〔主な質疑〕

問 本人負担が2割になる一定以上所得と人数は。

答 課税所得が124万円以上、また1月末現在で598人。

▼平成16年度千葉県成田市介護保険特別会計補正予算(第2号)

〔内容〕歳入歳出にそれぞれ4千2

67万6千円を増額し、総額を27億2千963万1千円とするもの。

〔主な質疑〕

問 平成15年度の給付に基づいて国からの負担金等が増額になっているが、一般会計からの繰入金が減額になっているのは。

答 あくまでも、予算で概算請求しており、その年に精算で追加交付または、返納という形で構成されている。

### 経済環境常任委員会

▼成田市中小企業資金融資条例の一部を改正するについて

〔内容〕中小企業に対する資金融資制度における審査期間の短縮を図り、中小企業の資金需要により迅速に対応するため、これまで融資額が500万円を超える案件について、審査を行ってきた中小企業融資運営委員会を廃止するにあたり、所要の措置を講じようとするもの。

〔主な質疑〕

問 融資運営委員会があったときに比べ、融資するまでにどれくらい早くなったのか。

答 2ヵ月くらいかかっていたのが、1ヵ月ほど短縮になる。

▼成田市公設地方卸売市場の設置及び業務に関する条例の一部を改正するについて

〔内容〕気温の上昇による水産物



▲マグロのせりを行う低温卸売場

の品質劣化を防止するとともに、衛生環境を確保するため、現在整備を進めている水産棟の低温卸売場の供用開始に伴い、その使用料を定めようとするもの。

〔主な質疑〕

問 使用料の算定方法は。

答 成田市行政財産一時使用料や他の市場の状況を参考にした。

▼平成16年度千葉県成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第2号)

〔内容〕使用料の1千976万円の減額に伴う一般会計繰入金並びに繰越金を増額するもの。

〔主な質疑〕

問 今後の取引の状況は現在の取扱高で推移していくのか。

答 リスクのある取引を回避したことによって、取扱高は減ったが、経営そのものは安定し、今後は現在の状況で推移していくものと見ている。



▲移転した“教育センター”と“ふれあいる一む21”

### 建設水道常任委員会

▼成田市都市公園条例の一部を改正するについて

【内容】都市公園法の改正に伴い、街区公園として適正な管理を行うため、所要の措置を講じようとするもの。

【主な質疑】

問 指定管理者制度とは別の問題ということか。また、公園の整備を老人クラブや団体に委託で行っていたが、そういうものが制度化されたのか。

答 指定管理者制度と今回の設置管理に関する内容については別のものだが、今回の設置、管理については、地域住民の参画等に対応するための部分的な管理ということと規定されている。また、老人会等のボランティア活動に対しては、内規で定めており、今回の改正とは別である。

問 公園花壇などはどういう団体が管理することを想定されるか。

答 この整備に関する運用指針によると、NPO法人、地元自治会、所在がはっきりしている組織、団体ということになっている。

▼成田市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正するについて

【内容】新たな給水需要に対応するため、第8次拡張事業計画の認可を受けるにあたり、計画給水区域、計画給水人口及び計画1日最

大給水量について、それぞれ変更する必要が生じ、所要の措置を講じようとするもの。

【主な質疑】

問 範囲が広がるが、実際の事業はどういう形で進めていくのか。

答 第8次拡張事業については、平成17年度に予定している公津西特定土地区画整理事業区域への配水管の布設、第7次拡張事業において、整備を進めた豊住ルートへの配水管にかかわるところから整備を進め、平成17年度は安西、長沼、西陵高校近辺と進めていきたい。また、飯田町の配水場に除鉄・除マンガン装置を設置する予定である。

問 エリアは広がったが、需要に応えながら徐々に行っていくのか。

答 水道の事業経営を見ながら、順次拡大していきたい。

▼成田市公共下水道根本名川中継ポンプ場更新工事委託契約の変更について

【内容】入札により生じた差額について減額するため、契約の変更をしようとするもの。

【主な質疑】

問 減額の要因は。

答 入札において、設計金額と入札金額に差が生じた結果である。

問 設計の内容に変更はないか。答 変更はない。

▼市道路線の認定について(ニュータウン中央線外5路線)

【内容】廃止した都市計画道路ニュータウン中央線を再認定するとともに、道路改良等により整備した5路線を新たに市道認定しようとするもの。

▼平成16年度千葉県成田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

【内容】歳入歳出をそれぞれ1億6千658万9千円の減額をし、総額を24億6千596万4千円とするもの。継続費では、根本名川中継ポンプ場更新事業については、事業費及び年割額を変更し、地方債では、額の確定に伴い変更を行うおとするもの。

▼平成16年度千葉県成田市水道事業会計補正予算(第2号)

【内容】収益的収入及び支出の、収入を営業収益の給水収益で3千406万1千円を減額し、営業外収益の給水申込納付金で、2千366万7千円増額し、総額で1千39万4千円、減額しようとするもの。また、資本的収入を企業債で4千530万円、出資金で1千448万1千円をそれぞれ減額し、収入総額で5千978万1千円を減額し、資本的支出を改良費で4千916万9千円、拡張事業費で2千万円をそれぞれ減額し、支出

総額で6千916万9千円を減額しようとするもの。また、これに併せて、企業債の限度額の変更を行おうとするもの。

【主な質疑】

問 井戸を掘られている現状に対して、歯止めがないということはないか。

答 ライフラインの関係で災害があつた場合に、水道管の復旧よりも電気の復旧の方が早いということと、地下水という意向を持つていたが、なるべく水道を使っていた、たくよう努力する。

問 老朽管布設替工事が減っているが、これは工事が減ったのか。

答 当初予定した路線についてはすべて終わっている。大きな理由としては、宗吾地先の老朽管布設替工事に際し、施工方法の変更によるもの。



▲都市公園を清掃する老人クラブ(後谷津公園)

### ● 人事案件

▼監査委員の選任の同意を求めるについて(野中憲男) [同意]

### ● 追加議案

▼成田市、香取郡下総町及び同郡大栄町の廃置分合について[可決]

▼成田市、香取郡下総町及び同郡大栄町の廃置分合に伴う財産処分に関する協議について [可決]

▼成田市、香取郡下総町及び同郡大栄町の廃置分合に伴う経過措置に関する協議について [可決]

### ● 発議案(議員提出の議案)

▼介護保険制度における介護予防策に関する意見書 [可決]

▼自動車の「成田」ナンバーの創設の実現を求める決議 [可決]

### ● 請願・陳情の審査結果

▼成田市の市町村合併について住民投票条例の制定を求める請願書 [不採択]

▼介護保険制度における介護予防策について [採択]

▼「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情 [不採択]

▼「教育基本法の理念を生かすことを求める」国への意見書採択のお願い [不採択]

# 特別委員会

## から

### 空港対策

#### 特別委員会

執行部から「成田ナンバーの経過について」の報告があり、昨年12月20日に成田空港圏自治体連絡協議会を開催、ローマ字の「NARITA」が認められないことから、漢字の「成田」で推進することとに決定。その後、習志野ナンバーの栄町、佐原市との合併を進める栗源町が離脱し、現在は、成田ナンバーの創設活動の枠組みは2市7町1村、登録台数約13万5千台に変更し進めているとのことでした。

次に、「共生財団事業における隣接区域の拡大について」の報告があり、騒音対策地域連絡協議会及び周辺住民からの要望を受け、A滑走路の隣接区域の設定についての見直し検討を行っているが、今回の見直しにあたっては、平成15年度の年間測定値が70WECPLNを超えていた本城地域を中心に、集落の一体性、地域間のバランスを考慮し、騒音対策地域連絡

協議会と協議をしながら、新たに隣接区域に加えるべく共生財団に要望しているとのことでした。

次に、成田国際空港株式会社から「成田空港の運用状況等について」の報告がありました。また、定例会最終日に「成田国際空港の早期完全化について」を議題として再度委員会を開催し、その中で、「関係当事者にあつては、新成田の創造のため、双方共通の理解に立ち、諸問題の解決の方策について話し合い、早急に名実ともに国際空港として機能されることを切に希望する。」との意見が委員会の総意として出されました。

#### 【主な質疑】

問 国の要綱の中で、人口に対する署名数の割合は、また、アンケートの賛成者がどのくらいいれば合格というラインが設定されているのか。

答 署名数については、特に何名以上という条件はないが、アンケート調査の中では、半数以上をもって賛成としたいという県の考え方があり、1人でも多くの協力をとることで、署名は別に集めさせていた、だいたいいる。

問 横風用の滑走路は、今後も継続していくものなのか。また、中部国際空港ができ、貨物の取扱量が少なくなるなど、その対策は。

答 横風用滑走路は、平行滑走路が完成した後、環境対策、共生策を改めて提示したい。また、中部

国際空港の影響がまったくないとは言えないが、現在、全体で3万平方メートルの貨物施設を造っており、大きな影響を受ける状況には至らないが、羽田に4本目の滑走路ができたときには影響があるのではないかと思う。また、東アジアの仁川、上海が成田の強敵になるので、一日も早く2,500メートルの滑走路を造らなければ思っている。

### 新駅・まちづくり

#### 特別委員会

執行部から平成16年12月定例会以降の「成田新高速鉄道及び北千葉道路について」と「成田新高速鉄道新駅周辺まちづくりの動き及び状況について」の報告がありました。

#### 【主な質疑】

問 平成22年開業について全体の見通しと17年度の位置づけ等、どのような形でとらえているか。

答 大変難しい問題で、一応22年度開業、17年度着工ということを確認し現在進めている。新高速鉄道と北千葉道路も、国が後押しをしてくれる体制になったが、この短期間で用地交渉、地元対策もあり、一時の油断も許されないとはいへない。縮小された事業になると思う。予定の期間ということが確認されており、その中で地元という立場で全力投球をしていきたい。

## 平成16年度の行政視察

委員会名	総務常任委員会	教育民生常任委員会	経済環境常任委員会	建設水道常任委員会	海外行政視察団
視察日程	平成16年10月25日～27日	平成16年10月25日～27日	平成16年5月10日～13日	平成16年10月25日～27日	平成16年10月4日～13日
視察先 (視察内容)	石川県小松市 (小松市民防災センター) 富山県高岡市 (高岡市役所/行財政改革)	宮崎県宮崎市 (宮崎市総合発達支援センター「おおぞら」) 鹿児島県鹿児島市 (鹿児島市生涯学習施設「サンエール」)	沖永良部 (知名町/農業基盤整備) 奄美大島 (龍郷町/地場産業) 瀬戸内町/奄美栽培漁業センター)	沖縄県那覇市 (沖縄都市モノレール「ゆいレール」) 沖縄県与那城町 (海の駅「あやはし館」)	オーストラリア連邦 ブリスベン市 (市役所/地方自治) パース市 (オフィス・フォー・チルドレン・アンド・ユース/児童福祉教育) シドニー市 (オリンピックパーク/環境保護) フランク・ピッケリー・ビレッジ (複合高齢者施設)
委員会名	空港対策特別委員会	新駅・まちづくり特別委員会	新清掃工場建設特別委員会	議会運営委員会	
視察日程	平成17年1月17日～19日	平成17年1月18日～21日	平成16年11月9日～11日	平成17年2月8日～10日	
視察先 (視察内容)	台湾 (中正空港 花蓮空港/騒音対策及び運営状況)	香港 (香港国際空港/多目的運送 青衣/高速鉄道 東涌/新駅の住宅地と鉄道の開発 サイバーポート/ITビジネスを基にした新町の建設)	高知県高知市 (高知市清掃工場) 香川県丸亀市 (クリントピア丸亀)	山口県宇部市 (宇部市役所/議会運営及び市町村合併) 愛媛県今治市 (今治市役所/議会運営及び市町村合併)	

## 予算特別委員会を設置 ～新年度予算7議案を審査・可決～

3月定例会市議会では、平成17年度当初予算関係7議案を審査するための予算特別委員会(委員12人)が2月23日に設置され、3月7日から9日までの3日間にわたり審査が行われました。審査の結果、各議案はすべて原案どおり可決されました。



委員長 渡邊 昭

副委員長	青野勝行
委員	伊藤昌
委員	荒木俊
委員	加瀬山田
委員	小田田
委員	油上倉
委員	上大馬
委員	宇都宮
委員	岩澤

### 《新年度予算の概要》

我が国の経済は、民間需要中心に緩やかに回復を続けると見込まれ、雇用・所得環境は改善の兆しが見られるものの、個人消費については下落基調が続いており、緩やかなデフレ状況が継続するなど、依然として厳しい情勢にあります。

成田市においても、税収の伸びは期待できない状況にあり、さらに国の三位一体の改革、県の厳しい財政状況を反映しての国庫、県補助金の縮減により、今後の財政運営は一層厳しい状況にあります。

このような状況下にあっても、第4次行政改革大綱の推進に努めるとともに、最終年にあたる第6次総合5か年計画を中心に、空港を活用したまちづくり等各種重点事業を中心に一般会計で433億円の当初予算を編成いたしました。

- ◆一般会計 433億円
- ◆特別会計
  - 国民健康保険……………65億7,998万1千円
  - 下水道事業……………23億8,626万9千円
  - 公設地方卸売市場… 2億5,563万5千円
  - 老人保健……………45億2,200万5千円
  - 介護保険……………27億4,507万2千円
- ◆水道事業会計 25億2,929万7千円(収益的、資本的支出計)

昨年12月に発生したインドネシア・スマトラ島沖地震の救援金を、3月4日成田市議会議員団の小川善嗣団長と上田信博副団長が、日本赤十字社千葉支部成田市地区長の小林攻成田市長を訪れ、国際赤十字を通じて被災者の援助に役立ててもらうため、救援金30万円を託しました。



▲小林市長に救援金を

### 議員団が スマトラ島沖地震の救援金

問 八代地区から出ている陳情に對しての回答は出ているのか。  
答 回答の前に、交通量調査を実施し、千葉県の方で鋭意、機能補償道路等の検討を行っており、現在の段階ではまだ回答には至っていない。  
問 面積のとれる側に、広い駅前広場をつくるべきではないかと考えるが、いづごろ政策的な決定をするのか。  
答 送り迎えの利用者の利便性ということについては、どのようにしたら円滑に駅の利用ができるか検討している。できる限り早く方向性を出したい。

執行部から「小泉区との基本協定書締結について」「富里市との

### 新清掃工場建設 特別委員会

問 コンコースを駅前広場と同じ高さで使えるような発想をして、そこを駅前商業施設として民間の力を借り、市が補助するような形はできないか。  
答 駅舎コンコースがおおむねJRの高さと同じくらいの高さであり、ニュータウン側については、そこまで上げるということは無理と考える。

基本合意について」「今後のスケジュール想定等について」の報告がありました。  
小泉区との基本協定書での合意事項は、建設地、富里市との共同設置及び施設完成時期等の10項目で合意に達し、課題が具体的に変わった段階で細目協定を締結することとした。  
富里市との基本合意については、共通理解として協議調整項目を整理した結果、2市の基本協定書案及びスケジュール想定、整備事業予算案、機種選定委員会の枠組み案について2市それぞれが3月議会に報告し、議会の理解を得た上

で再度検討会で確認し基本協定を締結したいとのことでした。  
今後のスケジュール想定は、3月議会で関連予算の議決後にパブリックコメント募集を実施し、環境影響評価調査等に着手し、平成20年度での着工後、新清掃工場本體工事は約3年と見込み、22年度内の完成を目指すとのことでした。  
【主な質疑】  
問 地元小泉区との協定に時間を要した理由は。  
答 成田市の基本的なスタンスとして強引なやり方は避けて、地元の方々の多様な意見を拝聴し、合意したいとの考えから時間を要し

たが、小泉区と正式交渉を開始した時期を考えると、市としては極めて順調な経過の中で今回の結果に至ったと理解している。  
問 完成が従来の目標より2年延長したことによる現施設の維持管理及び老朽化等の影響は。  
答 維持管理対策として、炉の内部の修繕等は定期的に実施していることから問題ないと考え、施設本体についても、平成13年度から14年度にかけて実施したダイオキシン対策工事の中で、大規模な補修をすることから基本的に対応可能である。

## 一般質問から



ヤエザクラ

一般質問は、市長などに市政全般について疑問点や方針などをたずねるものです。

3月定例市議会では15人の議員が質問に立ちました。

議会だよりに掲載されている内容は、会議録を抜粋したものです。詳しくは会議録をご覧ください。閉会后、約2ヵ月で市役所行政資料室市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

### 小児科医療の充実と 子どもの学力低下について

石渡 孝春 議員

**問** 全国的に医師が不足していると言われる小児科医療について。

①成田市の現状は。

②市民病院とも位置づけられる日赤病院との連携を深め、小児医療の充実を。

**答** ①人口10万人に対する小児科専門医師数は、全国平均で11・4人、千葉県平均が8・9人に対し成田市は12・3人であり、全国及び県平均を上回っている現状です。また、夜間や休日における救急医療体制として、成田市急病診療所と2次及び3次救急医療施設としての成田赤十字病院において小児

急病患者に対応しており、体制が整っていると考えています。

②小児医療体制のさらなる充実には必要なものと考えており、成田赤十字病院に対して、病院機能を十分生かせる医師数を確保できるように要望します。

**問** 指定管理者制度について。

①成田市での導入に向けての取り組み状況、そして条例の制定はいつごろになるのか。

②指定管理者制度における候補団体の選定基準について。

③開発協会や教育財団の今後はどうなるのか。

のようになるのか。

**答** ①「成田市公の施設指定管理者制度運用指針」を策定し、平成18年4月から指定管理者による管理を導入する準備を進めているところです。また、指定の手続き等に関する条例は、平成17年6月議会に提案する予定です。

②今後制定する条例の中で、申請の方法等とともに明確にしていきたいと考えていますが、現時点では住民の平等利用が確保されること、事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していることなどが考えられます。

③原則として民間事業者等との競争環境に置かれることになり、より質の高いサービスを低コストで提供できるような経営改善の必要があると考えます。

**問** 一本松通りの道路の改善について、花崎町の東京電力成田支社あたりから不動ヶ岡の「ありや橋」の手前までの区間は、路線バスや大型車両が通過するたびに大きな振動があり、改善ができるのか。

**答** 普通車程度の車両の通行では発生しない振動も、路線バス等の重車両が通行する際に発生することがあります。また、一本松通りは、交通量の多い路線のため、舗装面に亀裂やわだちが発生している可能性も考えられるので、今後原因を調査し、改善策を検討していきます。

**問** 子どもの学力低下について。①学力の低下について、ゆとり教育の見直しについて、それぞれ教育委員会の見解を。

②成田市における国語教育の現状について。

**答** ①各学校において学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容の確実な定着や個性を生かす教育の充実を目指して、教えるべき内容に応じて教員が必要な指導を実践できるようにするとともに、少人数推進教員の配置などを行い、

### 子どもが主役の学校づくりと 住民の信頼に応える福祉について

海保 茂喜 議員

**問** 子どもが主役の学校づくりについて。

①教科書採択は、教育委員会の主体性のもと、毅然とした態度で選定すべき。

②ゆとり教育の現状は。

③自分にかかわる学校をいい学校にしたいと願っているはずだが。

**答** ①学校の教員から成る調査員が共同調査・研究を行い、各教育委員会代表者などが、それぞれの責任において協議した結果をもとに検討した上で採択しています。

②基礎基本となる知識を確実に身につけさせるとともに、子どもたちの発達段階に即し、習熟度別学習やティーム・ティーチングなど指導方法等の改善を図っています。

個に応じた指導などの工夫のあるわかる授業の一層の推進を図りたいと考えています。あわせて、ゆとり教育の見直しは、今後の文部科学省の動向について注意深く見守っていきたいと思います。

②各学校において、国語科の授業の充実とともに、読書活動の一層の推進や、自分の意見を述べたり書いたりする授業、コミュニケーションを通して、表現力を培う授業など、様々な取り組みがされています。

③よい学校の条件としては、児童生徒一人ひとりが存在感を持ち、夢や希望・目標を持って生活できる場所であることが重要だと認識しています。少人数学習推進教員を配置したり、授業の工夫・改善や、学校全体が教育相談にあたる体制整備にも努めています。

**問** 消防活動における安全管理について。

①組織管理者が率先して消防活動における安全確保対策の推進に向け取り組む必要があると考えるが。

②安全管理のための組織体制と教育訓練のあり方についての見解を。  
**答** ①成田市消防本部は安全管理マニュアルの作成などにいち早く



着手し、組織管理者が率先してその励行を積極的に推進しています。  
 ②これまでの安全管理マニュアルを見直し、さらに、内部要綱の消防職員の服務と倫理を新たに制定し、周知したところです。

**問** 自治体の危機管理について。

①報道対応は危機管理の基本、危機管理そのものと考えるべきだと思いが、見解を。

②自治体を中心とした訓練方法の充実が期待されるが、危機管理の要諦と訓練方法について。

**答** ①災害対策本部を設置後に共同記者会見の機会を定時に設け、発表することとなっています。  
 ②他市町村の災害事例を学び、図上訓練等の実践的な訓練を実施し、職員が災害イメージを持ち、とるべき措置に習熟しておくことが必要となります。

**問** 住民の信頼に応える福祉について。

①住民が求めるものは何なのかを真剣に使命と受けとめ、プロとして住民の信頼に耐えられる人材の育成こそが何よりも求められていると考えますが、見解を。  
 ②虐待を受けた子どもへの自立支援の実情と今後の課題について。

**答** ①職業的倫理、職業的専門知識、職業的技術に裏づけされた研修等訓練が必要であることを十分認識しており、職員が常に問題意

識を持ち、自己の能力開発に主体的に取り組めるよう支援していきたいと考えています。  
 ②児童家庭課内に家庭児童相談室を置き、3名の相談員が家庭訪問や個別相談を繰り返し、親との信頼関係を築きながら、それぞれの親子の支援をしています。

**問** 新しい予算プロセスの検討について。

①財政制度の根幹である予算編成プロセス改革に取り組むことが求められているが、複数年度予算編

成については見解を。  
 ②市民にもわかりやすく、行政・議会・市民が共通に財政運営を管理・監視できる適切な財政管理指標はどのように作成すべきか。

**答** ①複数年にまたがる大規模事業や将来支出すべき事業については、継続費や債務負担行為の設定を行い、事業費の明確化を図っています。  
 ②各種指標を使った財政白書を作成し、わかりやすく説明を行っています。

## 景観条例の制定を

内山 健 議員

**問** 景観緑三法が平成16年12月に施行されました。そこで、景観に対する市長の考え方を伺います。  
 ①景観の利益をどのように考えているのか。  
 ②今後、行政の景観保護のあり方はどのように変わってくるのか。  
 ③景観条例を早期に制定すべきと思うが、市長の考えは。

**答** ①具体的な取り組みにあたっては、住民、事業者、行政それぞれが景観を共通の財産、あるいは利益と認識して取り組むべきものと考えます。  
 ②良好な景観の形成を図っていくためには、住民、行政等が互いに協力し、知恵を出し合って取り組

むべきものと考えます。  
 ③長期的に美しいまちづくりに取り組んでいくためには、地域に即した規範が必要であると認識していますので、景観法の趣旨を踏まえ、十分検討していきたいと考えます。

**問** 悪徳商法等の消費者相談の状況と市の対応について伺います。  
 ①成田市の相談状況、また相談件数等の状況は。  
 ②問題処理や対応状況は。  
 ③高齢者を中心に、昼間に在宅している人への被害防止対策は。

**答** ①平成16年4月から17年1月末までの期間で2,458件あり、

特にがきでの架空請求や携帯電話・インターネットへの不当請求の相談が激増しているほか、多重債務などの金融に関する相談が多くなっています。  
 ②成田市消費生活センターでは、4人の消費生活相談員が各種苦情、問い合わせ等の相談に応じ、専門的知見に基づいて、解決のため助言やあつせん等に努めています。  
 ③消費生活に関するパンフレットの頒布や「広報なりた」への消費生活相談Q&Aの毎月掲載などで消費生活情報を提供し、消費者被害の未然防止を呼びかけ、さらに、消費生活展や消費者講座などを開催し、消費者啓発に努めています。

**問** 市営住宅問題について伺います。  
 ①募集状況と入居の競争率は。  
 ②市営住宅における防犯、防火対策と、今後の対策は。  
 ③市営住宅の将来計画について考え方は。

**答** ①平成15年度は応募が126人に対し入居戸数は8戸で倍率は15・8倍、16年度は応募が129人に対して入居戸数が6戸で倍率

は21・5倍となっています。  
 ②入居の際には新しい鍵と交換し、また、各団地に消火器を設置しています。  
 ③市営住宅ストック総合活用計画の策定の中で、民間活用を取り入れたPFIの手法を含め、検討していきます。

**問** 市営駐輪場の防犯対策について伺います。  
 ①市営駐輪場での被害状況をどの程度把握し、また、その対応はどのようになっているのか。  
 ②監視時間の延長や防犯カメラの設置など、防犯対策をもっと検討すべきでは。

**答** ①成田警察署・成田警察署委託防犯パトロール隊や成田市防犯巡回指導員との連携を図りながら、駐輪場内のパトロールを実施しています。西口駐輪場内における部品等の盗難を含めた現状については、月平均で平成15年が10・5件から平成16年は5・5件と減少し、その効果が徐々に出ています。  
 ②夜間の防犯対策の一環として、より有効な防犯カメラの設置等の導入を検討したいと考えます。

**問** 空港の騒音下の土地の有効活用及び観光・商業・業務都市としての中核拠点づくりについて。

①成田市第3次総合計画の基本構

ての中核拠点づくりについて。

①成田市第3次総合計画の基本構

ての中核拠点づくりについて。

①成田市第3次総合計画の基本構

## 騒音下の土地の有効利用と中核拠点づくりについて

青野 勝行 議員

**問** 空港の騒音下の土地の有効活用及び観光・商業・業務都市とし

ての中核拠点づくりについて。

想及び基本計画で位置付けられている、空港周辺地域における総合的な土地利用の基本的方向性と重点プロジェクト及び施策の方向性について、今後、計画を見直す場合の新たな中長期的ビジョンとランドデザインについて、現時点でどう考えているのか。

②千葉県の「観光立県ちば推進ビジョン」を踏まえて、成田市の将来の観光・商業・業務都市を目指すための独自の中核拠点づくりのビジョン及びランドデザイン、さらに基本戦略を具体的に考え取り組む必要があると思うが、市長の考えを。

③道の駅を併設する成田の空港市場に加えて、観光施設と商業業務機能を組み合わせた大規模プロジェクト(中核拠点)の推進について提案したが、これに対しての所見は。

④これらの環境経済活性化プロジェクトを具体化し進めるためには、当然、事前の調査・研究、そして検討が必要だが、このプロジェクトを進める第一歩として、平成17年度策定予定の「第4次成田市総合計画」及び「5か年計画」の中に位置付けることが先決だと考えるが。

答 ①現行の成田市第3次総合計画においては、成田空港の立地により空港関連産業の集積が期待されるとともに、地域と空港との共生をテーマに、空港の持つ潜在力

を生かし、周辺市町村との連携に努めながら合理的な土地利用を図るように位置付けがされています。現在、総合計画の見直しを行っており、その中で地域の土地利用は、市域全体のバランスと地域の特性に配慮しながら検討していますが、空港周辺地域の土地利用の基本的な考え方、あるいは施策等は空港の立地という普遍的な条件から、基本的方向性を踏襲していくべきものと考えています。しかしながら、空港の立地を新たな視点で見直す作業も重要であると認識して

いますので、基本的方向性を守りながら、新たな施策を盛り込むべく、新総合計画の策定に努めていきます。

②現在、これからの成田市の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定中です。この観光振興基本計画により、新たな観光客の誘致や来訪者に親しまれる観光基盤の整備を総合的に推進します。

③空港周辺においては、空港利用客ばかりでなく、新たな観光客などの誘致が図られるような観光・商業を中心とした拠点整備についても、今後、関係機関と研究したいと考えています。

④事業主体は成田市がふさわしいのか、あるいは民間の企業が実施すべきなのか、また、計画の実効性、必要性、効率性などを総合的に検討します。

答 ①女性センター機能を持つスペースの設置については、現在行っている男女共同参画計画策定の中で検討したいと考えています。

②これまで女性計画や女性行動計画に登用率30%という目標数値を掲げるとともに、各種講座等の開催や情報紙の発行などを行い、女性の参画の促進に努めてきました

## 男女共同参画計画を推進するために

足立満智子 議員

問 男女共同参画計画を推進していくために。

①女性政策の推進にあたり、情報の収集発信、交流、活動の拠点としての女性センター設置を要望してきた。現行5か年計画でも設置が位置付けられている。使い勝手が良い、利用者も運営に参加できるようなスペースとして、箱物にはこだわらない。成田市の見解を。

②女性の登用について、成田市女性行動計画にある審議会等委員の女性比率3割の実現のため、ポジティブ・アクションに取り組む考えはあるか。

③現在、市が行っている各種相談事業の充実と時間延長について。

④国や県ではカバールしきれないでいるDVや児童虐待防止に対し、支援と福祉のためのサポート、ケアなどの支援体制を独自に取り組む考えは。

答 ①女性センター機能を持つスペースの設置については、現在行っている男女共同参画計画策定の中で検討したいと考えています。

②これまで女性計画や女性行動計画に登用率30%という目標数値を掲げるとともに、各種講座等の開催や情報紙の発行などを行い、女性の参画の促進に努めてきました

が、その実現には至っていませんので、今後も積極的に女性の参画の促進に向けて、各種講座の開催や情報提供などを充実させ、女性の人材育成に努めながらポジティブ・アクションについて検討していきます。

③市民相談室を設置し、法律相談、市民相談、市民生活相談、不動産相談、外国人相談、もめごと・悩みごと・苦情相談を開催するほか、各部署において市民のニーズに即え、様々な相談事業を展開し、市民の問題解決の支援に努めています。現在の相談体制のさらなる充実を図りながら、時間延長については、今後の研究課題とさせていただきます。

④DVや虐待は様々な要因が複雑にからみ合っていることが多く、大変難しい問題であるため、相談窓口である児童家庭課職員や家庭児童相談員については、研修会等に参加し、その資質の向上を図っています。カウンセリングによる加害者及び被害者のケアについては、カウンセリングそのものが専門的な知識と技術、そして豊富な経験等が求められることから、今後研究させていただきます。

問 障がいのある児童生徒への対応や地域コミュニティの拠点として、学校施設のバリアフリー化の現状と今後の進め方について。スロープ、トイレ、エレベーターその他設置状況の現状と展望を。

答 障がいのある児童生徒が入学する予定の学校については、入学前に障がいの度合いに応じ、スロープ・トイレ・手すり等の改修工事を行っています。学校の新增改築時や大規模改修の際などにおいては、国庫補助の制度を十分活用しながらバリアフリー化に取り組みたいと考えています。

問 子ども館の位置付けや管理運営に対する成田市の認識によって、施設の姿が見えてくる。子どもも含めた利用者が参加できるように運営委員会とか、子どもたち独自の運営委員会をつくることで、利用者としての自覚と責任も育つのではないか。成田市の見解を。

答 児童ふれあい交流事業を開催するほか、子育て支援の活動をされている諸団体との連携を図りながら、定期的に子どもたちがふれあえる事業を実施したいと考えています。その中で、子ども館を真に子どもたちの居場所、活動場所とするために、子どもたちが自発的、かつ責任感を持って子ども館での活動ができるよう、サポートしていく予定です。

# 大谷津運動公園の処遇と 小中学校の英語教育について

伊藤 昌一 議員

**問** 北千葉道路・成田新高速鉄道により、影響を受けると考えられることについて。

**答** ①両計画とも大谷津運動公園の中央部を東西に横断し、計画線が野球場やプールの上であり、影響を受けるのは必至であるが、工期はまた工法はどのようなものか。

**問** ②大谷津運動公園は、駐車場が少なく、近隣住民から苦情が寄せられ、JR・京成成田両駅から距離があり、徒歩で向かうには困難だと思いが、この機会に新駅周辺に新スポーツ公園を考えては。

**答** ①北千葉道路は、ほとんどがトンネルボックス構造で計画されており、新高速鉄道は、高架構造で計画されています。工期については、両事業ともまだ詳細設計がなされていないことから、具体的な工期は定まっていないとのこと。また、工法については、トンネルボックス構造の場合、掘削し、次にボックスを築造し埋め戻しをします。高架構造の場合には橋脚を設置し、橋桁をかけるのが一般的な工法です。

②工事完了後は、現在の運動公園としての機能が保たれるため、建設は考えていません。

**問** リサイクルプラザ粗大ごみ処理棟委託業者の勤務状況と他市町村からの不燃ごみ混入について。

**答** ①委託業者の労働条件や安全衛生などの労務管理は把握しているか。

**答** ①労働基準法あるいは労働安全衛生法の規定に基づき作成された就業規則や諸規程、さらに作業マニュアルにより、職場環境の安全と健康の確保など労務管理に努めています。また、集じん機の設置やエアコン、換気扇等を設置するなど、働きやすい環境の整備に努めています。

**問** ②現在も定期的に抜き打ち検査を実施しているところですが、そのような状況が見られた場合には、当該対象者への指導、警告はもとより、抜き打ち検査の頻度を増すなど、対策強化を図っていきます。

**問** 小中学校の英語教育について。

①6年間英語に親しみ、中学校の教育と分断されることなく緊密な連携を持つべきだと思いが。

②平成8年から成田小学校が文部科学省指定研究開発学校となり、

当時は聞く・話す为主体であったが、語学は本来聞く・話す・書くが不可分のものであり、また理解習得も早まると思われるが。

**答** ①2つの中学校区において小中学校9年間を見据えたカリキュラムのあり方や効果的な指導方法指導形態等の研究開発を行っています。さらに、小中学校の英語教育の連携が円滑に進むよう、平成17年度には有識者を含む検討委員会を設置し、小中連携のあり方について研究していく予定です。外国人英語講師や小学校教員の研修会を一層充実し、指導力の向上を図っていきます。

**問** ITの推進について伺います。

①市民にとって必要とする情報を正確に伝えるためには、メディアの特性を生かして、有益な情報を速やかに伝達できるシステム、体制を確立する必要がある。市は、警察や学校と連携してメール配信を希望する市民の携帯電話やパソコン等へ、地域で発生した事件情報などを配信するサービスを実施してはどうか。

②市の公共施設の予約をパソコンや携帯電話などから行えるように、公共施設予約システムを早期に開始してはどうか。

**答** ①緊急に整備する必要があるものと判断したことから、平成17年度の稼働を目指して、現在、関係各課において、管理体制及びシステムの構築に向けて協議を進めています。また、市民のみなさんがパソコン、携帯電話で防災、防犯情報等の希望する情報の配信を登録することによって、緊急の場合に配信される機能を備えているものも検討しています。

②平成17年4月に既存の管理システムの切り替えを迎えることにより、現在新たに市民のみなさんに情報を提供できるよう、新シ

ステムの稼働に向けて準備を進め、成田市のホームページから公民館の予約情報を確認できる予定です。他の公共施設については、合併後の対応を念頭に置き、計画的に展開してまいります。

## 緊急情報発信システムを導入

大倉富重雄 議員

②小学生は、英語特有のリズムやイントネーション等に柔軟に適応でき、積極的に活動することから聞くことや話すことに重点を置き、コミュニケーション能力の基礎の育成を目指しています。読むこと書くことの指導は、自然に視覚的に文字を認知させる工夫をし、計画的・系統的に文字を掲示したり、カードの中に文字を入れたりしていくなど、発音段階に応じて文字と接する環境づくりをしています。特に、ローマ字の学習を終了した高学年には、中学校との連携を視野に入れ、文字指導のあり方について検討してまいります。

**問** 女性施策について伺います。

①男女共同参画社会の実現に向けて、今後どのように推進しようと考えているのか。

**答** ①新たな計画については、成田市の男女共同参画の一層の促進に向けて、市民ニーズの把握に努めながら(仮称)男女共同参画計画を策定したいと考えます。

②男女共同参画社会の実現に向けて、市民の活動や情報提供等の場としての女性センターの必要性については、十分認識していますので、計画策定の中で検討していきたいと考えています。

③今後、要望してまいります。

**問** 福祉について伺います。

①老人保健福祉計画の策定をどのように進めようとしているのか、また策定の手法はどうしようと考えているのか。

②福祉タクシの対象者に、要介護認定者の適応を拡大できないか。

③今後、要望してまいります。

④福祉タクシの対象者に、要介護認定者の適応を拡大できないか。

答 ①介護保険制度の抜本的見直しに伴い、老人保健福祉計画の大幅な内容変更が予想されます。このため国の計画策定指針を待つて、計画を策定することになります。市民のみなさんの声を聞きながら、計画の見直しを実施していきます。

②社会福祉協議会が実施している移送サービスの事業費を、成田市が補助することにより、その活動を

## 基盤整備・行政サービスと 緊急・災害時の事前研修について

荒木 博 議員

問 国際空港都市としての今後の基盤整備について伺います。

千葉県では、平成16年度重点事業の中に、成田市並木町の国道51号から富里市七栄地先までの約2キロメートルを4車線化及び電線類の地中化を計画し、東関道富里インター付近の慢性的な渋滞の緩和を図るとあります。並木町内の住宅地の狭い道路を抜け道にしていますが、学校の通学路でもあるこの道路は、歩行者や自転車にも非常に危険であり、地域住民も生活しづらくなってきています。成田市としても、積極的に事業を進めていくべきだと思えます。

①並木三差路から51号までの国道409号拡幅工事の予定について。

②既存道路の見直しについて。

答 ①社台牧場跡地で計画が進め

を支援しています。

問 文化財保存展示施設整備の進捗状況は。

答 平成17年度当初予算に測量調査費を計上し、成田の文化財保存展示施設にふさわしい諸要件を考慮し、用地選定に努力していきたくと考えます。

されます。今後、今以上の市民サービスの向上を図っていただきたいと思えます。

①現在行われているフロアマネジャーの成果について。

②フロアマネジャーの今後の方向性について。

答 ①平成16年4月から部長クラスの職員で実施し、7月からは課長クラスの職員まで拡大し、幹部職員をフロアマネジャーとして配置することよって、職員の意識改革はもとより、市民のみなさんからの苦情やご意見等が速やかに担当部署に伝わり、早期に対応し改善が図られるなど、サービスの向上につながってきているものと考えられています。

②当初の目的である市民の目線に立ったサービスの提供・接遇の改善が実現されつつありますので、今後とも継続していきたく考えます。また、費用対効果の観点から、平成17年4月から総合案内所を廃止し、職員が自己研さんを重ね、より一層の市民サービスの向上を目指したいと思えます。

問 緊急時及び災害時などにおける職員の事前研修の取り組みについて伺います。

市役所を初め、公共施設などで急病人やけが人が出たときでも、応急手当を施すことよって、尊い人命を救うことができます。ま



▲朝夕混み合う住宅地の道路

た、災害時の被害を最小限に抑えるのはスピーディーな初動体制だと思えます。

## 公園整備と電柱問題について

村嶋 照等 議員

問 公園は、市民の憩いの場であり、その整備状況はその自治体の文化度のバロメーターとも考えられます。成田市は、事あるごとに国際空港都市の名がかぶせられま

すが、心安らぐ場所の確保という点に関しては、その名にふさわしいとはとても言えません。

そこで、成田市では、今まで各地区の公園の整備、充実にどの程度努力されてきたのか。改善の度合いは、また、これからの計画について。

①全職員の普通救命講習の実施について。

②災害時の初動体制について。

答 ①全職員を対象とした定期的な普通救命講習について、実施に向けた検討をしていきたいと考えます。

②成田市では地域防災計画及び職員初動マニュアルを策定しており、初動時の人員数については、徒歩による参集までの所要時間の調査により、招集後1時間以内に310名、3時間以内には650名の職員の参集が可能ですが、各災害対策を指示すべき幹部職員が不在もしくは遅延も予想されることから、各部の事務分掌に基づき他の職員が対応することとしています。

答 公園は、人と人、人と自然との関係をより一層深め、市民生活に潤いを与え、快適な生活環境と美しいまちづくりのうえからも、重要な都市施設です。成田市の都市公園については、現在、110カ所、107・45ヘクタールの面積が供用開始され、平成17年1月末時点で住民1人あたりの公園供用面積は10・8平方メートルとなっており、国が定める住民1人あたりの標準面積10平方メートル以上の範囲に入っています。今後



▲狭あいな道路に立つ電柱

とも都市化の著しい進展と市民の余暇の増大、ニーズの多様化・高度化等に対し、重要な役割を担う施設として整備を進め、市民の憩いの場の充実を図っていきます。

**問** 狭い歩道上にどっかと建つ電柱が何本も見受けられる。残念なことに交通の妨げとなる電柱問題については、もう少し本気で対処していただきたいところだが、私の質問以降この問題について、どのように改善策を講じられてきたのか。

**答** 成田市が施行する幹線道路、生活道路の改良事業の際、市民の通行の安全を確保するため、支障となる電柱について、電柱の占有者に依頼し、平成16年度は52本を移設しました。道路上に電柱が設置される原因のほとんどは、電柱用地の確保が困難なことにあります。電柱の占有申請に際しては、事前に道路隣接地の地権者の協力を求めるよう、引き続き占有者を

## 介護予防対策と民生・児童委員活動の援助について

油田 清議員

指導していきます。また、歩行者の円滑な通行に支障を生じている

電柱等についても、今後とも占有者と協議したいと考えています。

**問** 保健福祉館に高齢者向けの筋力向上トレーニング設備を設けてはどうか。

**答** 設置場所及び指導者の確保等の問題があり、現時点では困難であると考えますが、今回の介護保険制度見直しの中で位置付けられるよう、新予防給付事業の検討とあわせて研究したいと思えます。

**問** 民生・児童委員活動の援助について伺います。

**答** ①成田市の民生・児童委員の人数について現状は、  
②民生委員の年間平均活動日数、相談支援件数、訪問回数  
③行政としての支援策について、  
④児童委員の相談件数、支援策は、

**答** ①成田市の民生委員・児童委員及び主任児童委員は、平成16年12月に3年ごとの一斉改選があり、民生委員定数は137名、主任児童委員定数は16名、合計で153名です。平成16年12月1日現在、欠員7名という状況でしたが、17年1月26日に民生委員推薦会を開催し、6名の候補者を千葉県に達しました。  
②平成15年度は、在宅福祉や生活

職1名、計2名です。また、平成16年度は、現在までのところ、療養休暇1名、休職1名、計2名です。

**問** 教員の健康管理について伺います。

**答** ①成田市内での教員の病欠休職者数、そのうち精神性疾患での休職者数の現状は、  
②労働基準安全衛生法で定められた産業医の職場巡視はどのように行われているか。また、どのような対策がとられているか。  
③平成15年度に精神性疾患で休んだ教員は、療養休暇1名、休職1名、計2名です。また、平成16年度は、現在までのところ、療養休暇1名、休職1名、計2名です。

**問** 市町村合併について。  
①行政改革を進めるための施策について。  
②北総地区のリーダーとしての自覚について。今、政治に求められていることは、経済の拠点を全国各地につくることであり、実のある地方分権のうえに立って、新しいまちづくりの理想を共有することであると考える。国際空港都市として、また国際観光都市として、北総地区の経済の拠点をつくり上

**答** ①児童生徒の広島平和式典への代表派遣について教育長の所見は、  
②戦争体験の記録「今だからこそ」

## 新市建設計画の課題について

伊藤 竹夫 議員

の続編発行、またはビデオ化は、  
**答** ①平和式典への代表団の派遣については、県内の他市町村の動向等を注視し、取り組みについて研究していきたいと思えます。  
②戦争の悲惨さ、平和の大切さを今後も子どもたちに伝え、体験記など既存資料の有効活用と、必要に応じては復刻化で対応したいと考えています。

**問** 中学生議会の継続について。  
**答** 来年度以降についても、本年度の反省すべき点も踏まえながら、より充実した中学生議会を継続して開催するとともに、これからの成田市を担う中学生たちの率直な意見に真摯に耳を傾け、今後のまちづくりに生かしたいと思えます。

**問** 平和行政の推進について。  
①児童生徒の広島平和式典への代表派遣について教育長の所見は、  
②戦争体験の記録「今だからこそ」

## 高等教育機関の誘致と 貨物便の流動防止

小山 昭 議員

ならないと考えています。現在でも深夜夜に対する苦情等が多くある中で、騒音地域住民の環境保全からも運航時間を延長するという事は、地域との約束を反故(ほんご)することとなり、規制緩和の要望を行うことは困難と考えています。

①騒音対策として住宅防音工事の進捗状況は。

②成田国際空港の潜在能力を生かすとともに、空港機能の充実を図るには、共生財団、騒音下市民との対話を十分に行うことが必要であり、成田市から働きかけることが急務と考え、23時以降早々に出来る貨物便、出発態勢のできている貨物便については、その枠を超えて出発の許可ができないのか。

③耐震補強、更新費用の平準化、最小化は、構造物の長寿命化、メンテナンスフリー化の技術を取り組み、点検から耐震補強、更新に至る管理を総合的にとらえ、計画的・効率的に行う仕組みを整備することが必要です。

成田市が管理する橋梁の耐震診断の進捗は、落橋防止等耐震補強の進捗は、また耐震補強計画は整備されているのか。

答 橋脚・橋台の補強や橋桁の落橋防止、橋桁の変位防止装置の取り付け等があり、これらを1つの橋ごとに完全に実施したいところですが、事業費が巨額になるため、補強整備できる橋の数が容易に増えません。そこで、千葉県と協議し、指導・助言の中で、耐震補強工事の中でも橋桁の落下防止工事が最優先であるという判断から、現在、落橋防止工事を優先に進めています。今後の耐震補強計画は、優先度の高い橋梁から落橋防止工事を進め、引き続き橋脚・橋台の補強、そして変位防止装置の取り付け等の耐震補強工事を実施していきます。

問 すぐれた人材を育成する高等教育機関、つまり大学または専門学校の中長期計画の中で誘致目標年次は。また、誘致する学部を検討しているのか。

答 先進的な環境自治体を目指し、さらにアジア諸国に対し環境情報を発信する基地としたいという環境重視の政策を推進するために、環境学を中心に据えた大学の誘致は実現したいと考えています。しかしながら、近年の社会経済の状況や今後の18歳以上の減少を踏まれば、新たな高等教育機関の進出はなかなか厳しい状況にあり、誘致についての目標年次の設定も現時点では難しさがあります。空港関連企業に就職できる学部を持つ高等教育機関の誘致については、実現されれば、成田で生まれ、育ち、学び、そして成田で就職するということも可能となり、優秀な人材の育成、確保という面からも、また地域と空港との共生という面からますます望ましいものであると考えられます。

問 成田国際空港から羽田空港、中部国際空港への貨物便の流動防止対策として、騒音対策の充実と航空機離発着時間の規制緩和につ

いて、

①の要望が上がっているが、②ニュータウンセンター地区を、将来的に地区の活性化につながるような根本的な計画を。

答 ①暫定的に自治会や市民に開放できないか、千葉県及び千葉県まちづくり公社と協議したいと思

います。

②土地の所有者である千葉県に対して、将来的な地区の活性化と市民ニーズに対応した土地利用を要望したいと思

います。

問 スポーツ団体への支援活動について。

①活動場所確保のための支援について。

②育成のための支援について。

答 ①限られた条件下で、既存の施設の使いやすさを考えた改修、その時々合った使用方法や予約方法などの管理運営面での改善を図り、既存施設の利便性を高め、より効果的に使用していくことが重要と考えます。

②昨年、スポーツ健康都市を宣言し、生涯スポーツマスタープランの推進を、さらに積極的に進めたいと思

います。

問 少子化対策の今後の展望について。

答 成田市次世代育成支援行動計画の実行を通して、子どもたちを安心して産み、育てる環境づくりに努力したいと思

きます。

②大型店舗の立地も進み、ますます広域的拠点性を高めています。また、空港関連機能が集積されつつあることから、雇用面や生活面財政面等の優位性から、北総における中心都市としての位置付けを確実なものにしていると言っても過言でないと思

います。

③新市において、個性豊かで活力に満ちた地域社会を形成していくために、住民協働型の行政システムの形成により、市民が行政に参加できる仕組みづくりに努めます。

問 防犯の取り組みについて。

①パトロール隊結成後の現状と改善策について。

②安全安心センターについての見解を。

答 ①効果的かつ継続的な活動を展開するため、地域や専門機関などの意見を反映した市民と行政との協働による活動を図るための協議会の設立や、成田市防犯巡回指導員と元警察職関係者の非常勤職員の増員などを行うこととしていきます。

②成田市防犯巡回指導員事務所が安全安心センターとして機能できるように検討したいと思

います。

問 ①ニュータウン地区にある千葉県所有地の有効利用について、利用目的がないなら、決定するまでに地域住民に有効利用させて欲

# 市町村合併と 入札制度の改善について

馬込 勝未 議員

**問** 憲法9条は、今や国際関係を律する原則として、世界共有の財産・宝となり、憲法9条の理想に国際政治が近づいている。市長として、一政治家としても憲法9条を守る立場を表明して欲しい。

**答** この問題について考え、議論されることは大変意義あることですが、現時点で私見を述べることが差し控えさせていただきます。

**問** 市町村合併について。

①1市2町で終わらず、新たな合併の動きもあり得ることから、住民投票で決めるという基本をつくるのが大事で、市民の意思を問う住民投票を行うべきでは。

②国の三位一体改革の名のもとに補助金や地方交付税の削減が行われ、市民に示した推計どおりの財源が確保できない可能性があるのではないかと。また、合併により資産割合がなくなり、減収することとあわせて国保税の再値上げがあるのではないかと。

**答** ①議会において住民のみならずのご意見を反映した判断をいただくこととして、住民投票の実施は考えていません。

②合併年度及びこれに続く10力年度は、合併前の市町村が存在する

ものと仮定して、算定した普通交付税の合計額を下回らない額として交付されます。行財政基盤の強化を図ることによって、特例期間後も十分に現在と同様のサービス水準を維持できるものと考え、また、国保税の影響額については、合併時は加入者に負担を求めない方法で対応したいと考えています。

**問** 条件付き一般競争入札と電子入札の導入を求める。

**答** 他市の実施状況等を十分に参考として、今後、入札制度改善検討委員会の中で導入に向けた検討をしていきたいと思います。

**問** 成田新高速鉄道及び北千葉道路の環境影響評価について。

①希少種の保護のために国や自治体が施策を立て、オオタカの保護を行うべきだと思いが。

②松崎地先は、開削後、トンネルにする計画だが、地下水への影響は。また、北須賀から八代の水田地帯の地下水への影響は調査の対象から外されている。対策を申し入れて欲しい。

**答** ①千葉県環境影響評価委員会において、オオタカ等の希少な動物への影響や保全措置等に関し、

審議されていると聞いています。②松崎地区の開削トンネル部分において、井戸水として使用している地下水脈を切断することはないと報告されています。また、印旛沼周辺の低地部における地下水への影響については、工事による影響は極めて少ないと考えられており、工事施行前後には、井戸調査も実施すると聞いています。

**問** 富里市と成田市の境界をまたがって建設が予定されているマンションの建設について、境界をまたがった建物の住民登録について

は、両市の間で話し合っており、決めることと。また、速やかな対応を求めたい。

**答** 行政区境の境界をまたがる住

## 食の安全対策と地域防犯について

水上 幸彦 議員

**問** 食の安全対策について。

①遺伝子組み換え食品を含め、食品に関する不信任感が大きくなっていく中で、食の安全を守るための取り組みについて。

②トレーサビリティ導入による対応について。

③食品表示に対する不信任感を払拭するために、国は食品表示ウォッチャー制度を導入し、食品表示の適正化を図るための制度としているが、成田市の今後の食の安全確

所認定については、住民基本台帳法からも明確な基準が示されていないのが現状で、今回のマンション建設に伴う住所認定についても、総合的な行政対応を勘案し、富里市と成田市で引き続き協議を行っていきます。

**問** 国民健康保険税の滞納者から保険証を取り上げ、資格証明書が発行しているが、保険証の交付と納税は切り離して考えるべきでは。

**答** 文書による納付勧奨、あわせて戸別訪問等による納付相談・指導に努めており、さらには事前に返還予告通知をするともに、特別の事情があると認められる場合には、短期保険証に切り替え、一律に発行することはしていません。

**問** 保対策について。

**答** ①広報による農薬の適正使用の啓発や減農薬による栽培を推進し、安全な農作物栽培と、堆肥による土づくりの実験を行い、化学肥料を減らすための事業にも取り組んでいます。

②消費者の食に対する関心が高まる中、減農薬、減化学肥料等の生産方式やトレーサビリティの導入の啓発をするなど、安全・安心・新鮮・おいしい農産物の提供に努

めていきたいと思えます。③県の制度並びに他市の動向を踏まえ、食品表示ウォッチャー制度について調査・研究したいと考えています。

**問** 防犯対策について。

①防犯灯設置について。  
②スパー防犯灯導入について、研究した成果は。

③公園や公共施設における照明の観点から、市民の安全を守るための防犯対策は。

**答** ①柔軟かつ迅速な対応を努めていますので、現行制度を維持していきたいと考えます。

②効果的な導入台数と設置場所の選定並びに財政的な問題を検討した結果、防犯カメラ等の導入を優先して検討したいと思えます。

③市民の安全を守るための防犯対策として、市内公共施設等の夜間照明施設の充実については、コミュニティ補助事業や施設整備事業とあわせ、具体的な問題事例に即した対応を検討したいと考えます。

**問** エル・ネットについて。

①エル・ネットについてはなかなか情報がなく、市民に周知されていないようだが、視聴覚サービスセンターに設置されたエル・ネットの活用状況は。

②エル・ネットの今後の展開について、広報の方法を含め考え方は。  
③文部科学省が力を入れて展開し、

次ページに続く

千葉県でもモデル事業として取り組んでいることを考えたときに、生涯学習社会の情報サービスの重要性について、どのように考えるのか。

答 ①平成11年度末に設置されて以来、視聴覚ライブラリー運営委員会でも検討を進めるとともに、ほとんどのプログラムが録画・貸出し可能な「子ども放送局」の番組を中心に、希望者への録画・貸出しという形で活用を行っていますが、これまでのところ利用は極めて少ない状況にあります。

②情報提供の工夫改善と録画・貸出しの可能な番組のライブラリー化を進め、エル・ネットを利用しやすいシステムを構築することによって、市民の生涯学習の場の拡大を図っていきたくと考えます。また、利用状況に応じて受信設備の移転や増設等、さらなる対応を考えたいと思います。

③生涯学習社会を進展させるうえで、情報の収集と活用は極めて重要であると考え、番組の内容によって働きかける対象を絞り、重点的に広報をするなど、エル・ネットの利用を促進することで、市民の生涯学習の進展に寄与したいと考えています。



## 成田国際空港の課題と対策について

尾形 英司 議員

問 ①暫定B滑走路の北側延伸による2、500メートル早期実現のため、成田市は積極的な協力をする時期に来ていると思うが、小林市長は成田国際空港株式会社の社長に対し、どんな提案、要望をされたか。

②国際線の成田、国内線の羽田の役割分担を今後も堅持していくことは、成田空港の将来にプラスだと思いませんか。

答 ①空港機能、工事期間、騒音対策などを考慮すれば、当然、本来計画での2、500メートル滑走路をつくるべきで、そのためにも、地元自治体としても全力で協力をしたい旨のお話をさせていただいているところです。

②成田は国際線の基幹空港、羽田は国内線の基幹空港としての役割分担を堅持し、ともに発展していかなければならないものと思っています。

問 企業誘致条例を制定して、大企業を誘致して、雇用増や消費拡大し、将来の20万、30万の成田市を考えた自主財源確保対策を。

答 将来見込まれる人口規模に合う財源の確保をするためには、いかに活力あるまちづくりを行う

かが重要であり、その一環として国際空港立地という好条件を生かし、IT産業等の先端技術に関連する企業の誘致は、有力なものと考えています。成田市において企業誘致を積極的に進める区域としては、千葉県が進めている成田国際物流基地が想定されますので、今後の整備状況を注視するとともに、企業誘致条例等の制定について検討をしたいと思っています。

問 NPOについて伺います。

①NPOに取り組む市の姿勢。

②市民活動センターの設置。

③業務委託は進んでいるか。

答 ①「NPO立県ちば」を掲げる千葉県との連携を図りながら、積極的な情報提供や啓発活動等を行い、NPOの育成や市民意識の醸成に取り組んでいきたいと思えます。

②先進地の市民活動センターの運営状況を把握し、センターの役割や設置・運営方式等について検討していきたいと思っています。

③一部において既に委託が実施され、今後も業務委託の拡大を図るとともに、さらに受け皿となるNPOの設立がされるよう、情報の提供や啓発に努めていきたいと思

います。

問 指定者管理制度、市場化テストについて市の取り組み姿勢、導入、検討状況について。

答 平成16年7月に成田市の施設指定管理者制度運用指針を行政改革推進本部において策定し、現在この運用指針に基づき、平成18年4月から導入する準備を進めており、17年度に行われる国の試行的導入の成果や、審議の動向を見守りたいと考えます。

問 図書館、公民館などの公共施設の駐車場不足はいつ解消するのか。また、ニュータウン6住区にある近隣センターなどの土地を活

用して、公共の大きな駐車場を早急につくるべきでは。

答 駐車場不足の問題は、基本的には個人の責任あるいは住宅管理者等において解決しなければならぬものと考え、住宅団地あるいは、その周辺に市営駐車場を整備することは、同様の問題を抱える他の地区にも多くあり、非常に困難です。また、加良部、玉造、橋賀台の公民館は住宅区域内にあり、駐車場の面積も限られ十分なスペースがないため、利用者のみなさんには、乗り合わせやバス等の公共交通機関を利用するなど、ご協力をお願いしています。



議会だよりも、今回からみなさんの馴染みのサイズ(A4)に変わります。

議会や議員の活動を知らせ、知ってもらうには、関心を高めてもらうことが大切です。「議会だより」の発行は議会広報の一つの手段に過ぎませんが、これをキッカケに幅広い方法を考えてみることを必

要です。年に数回の広報誌を発行しても、市民のみなさんの目に留まらなければ効果はありません。議会広報のキメ手はないのですから、あらゆるチャンスをとらえて議会の情報を積極的に発信していくと考えています。 S・K

6月定例市議会は、6月3日(金)開会予定です。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆  
「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

電話(20)1570直通  
ファクス(24)0336